

◆地図・アクセス◆



JR/市営地下鉄「新横浜駅」から

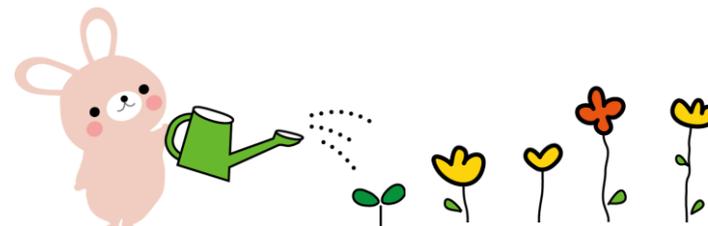
- ・徒歩 約10分
- ・市営バス300系統「仲町台駅」行きで「浜島橋」下車
- ・横浜市総合リハビリテーションセンター/横浜ラポール専用送迎バス 約5分

横浜市総合リハビリテーションセンター

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1770

TEL: (045)473-0666 FAX: (045)473-0809

発音が心配なお子さんの
ことばの相談について



横浜市総合リハビリテーションセンター

発音のご相談について

●お子さんの発音について

発音がうまくいかないために、ことばがわかりにくかったり、相手にうまく伝わらずに困っているお子さんはいませんか？

同じ年齢のほとんどの子ども達が正しく話せている発音が、うまく発音できなかったり、発音に誤りがあることを、「**構音障害**」といいます。

このような発音の問題は、子どもには多くみられ、4～6歳のお子さんでは100人に2～4人います。

構音障害は、適切な時期にことばの相談をし、必要な場合は発音の練習を行えば改善します。

小学校に入学するまでに、正しい発音が身につけられることを目標として、入学前に当センターでことばの相談を受けることをお勧めします。

◆例えばこんな症状です

ことばの特徴	例
カ行 → タ行	「あか」が「アタ」
タ行 → カ行	「たいこ」が「カイコ」
サ行 → タ行、シャ行	「かさ」が「カタ」「カシャ」
シャ行 → チャ行	「でんしゃ」が「デンチャ」
ラ行 → ダ行	「ラッパ」が「ダッパ」
声が鼻に抜けてしまう など	

●相談・訓練時期の目安

発音の訓練には、適切な時期があります。

当センターでは、主に年長(5歳児)のお子さんを対象に訓練を行っています。相談をご希望の方は、年中(4歳児)の間に、当センター耳鼻科診察をお申し込みください。

●申し込み方法

直接お電話で当センターあてにお申し込みください。

耳鼻科医の診察と、言語聴覚士による言語評価を経て、発音訓練の要否を検討します。費用は保険診療の範囲内です。

※お電話のお申し込みから初診まで、お時間がかかることがあります。(混雑時期は数か月)

※年長のお子さんで、発音の相談を希望の場合は、遅くとも夏までにお申し込みください。

10月以降のお問い合わせでは、当センターでの訓練は行っておりません。その場合、小学校の「ことばの教室」での指導となることがありますので、横浜市特別支援教育総合センター(TEL:336-6020)に直接ご相談ください。

●申し込み・お問い合わせ先

横浜市総合リハビリテーションセンター 相談調整課
TEL：(045)473-0666

